四葉（よつば）

第 17 号
平成 29 年 9 月 1 日発行
発行責任者
門真第４地域包括支援センター
門真市北島町１２－３
☎０７２－８８７－６５４０

ご無沙汰しております。なんと半年ぶりの発行であります。いえいえ、発行を忘れていたわけではないんです！
少しリニューアル致しましてお届けさせて頂こうと思います。

今年は四つ葉教室と名付けて、毎月第2火曜日、市民プラザ2階の第3会議室にて教室を開催しております。
5月から8月までの教室内容をご紹介いたします。

毎回30分間体操＋30分間テーマ別のお話をしております。

5月は交通安全
6月は頭の体操
7月は消費者被害
8月は栄養
についてのお話をしています。

9月以降の予定は別紙予定表をご確認ください。参加費無料で予約もいりません。いつでもだれでもご自由にご参加ください。

地域の皆様と力を合わせて！

日頃地域の情報が入る民生委員の皆さんをはじめ、地域の方々が、「どんなことを地域包括に言えばいいのか？」「相談したけどそのあとどういう事をしてくれるのか？」と感じる事はありませんか？

そこで、具体的なイメージを持って頂けるよう、地域の皆さんと一緒に取り組んだ事例をご紹介したいと思います。そして、より安心して相談して頂けるようにしたいと思います。

★★独り暮らしの高齢者の生活を地域の方と支える★★

地域の知人の方から70歳代の男性Aさんについて包括へ相談を受けて初めて自宅訪問させて頂きました。自宅内はアルコールのビン、チラシ、物が雑然と置かれている状態で、訪問は知人の方も同行訪問してくださいました。介護保険や生活保護申請も提案してみましたが、ことごとく拒否され、包括に対して「介護の押し売りはいりません。もう来ないでください！」と連絡が入るような状態で、なかなか信頼関係を築くことが出来ず、支援につなぎたくてもなかなか糸口を見つけられない状態がしばらく続く状況でした。数か月経過を見ている中、担当の民生委員さんより「気になる人がいてるからちょっと見に来て」と連絡をいただきました。それはなんとあのAさんのことでした。

民生委員さんは担当になられてから、ちょっとした声かけや気配り心配りをしてくださっていたことで、信頼関係を構築されており、そのきっかけを活用し支援に繋がり、生活保護や介護保険申請にもつながり介護サービスにもつながり安否確認もできるような状況となりました。

民生委員さんとのつながりから地域の方の見守りを活用し、在宅での生活を継続できたという事例でした。

包括だけでは介入しきれなかっただろうと私自身思っていますが、民生委員さんの熱い情熱と地域の力に助けて頂き、可能なところまで地域生活を営むことができた事例ではないかと感じています。ご協力を頂いた皆様に感謝しております。

四つ葉教室以外にも色々な教室開催しました！

平成 29 年 6 月 16 日
五月田小学校にて認知症サポーター養成講座を実施。
未来を担う子供たちが真剣に学び、かわいいサポーターが誕生しました。

認知症の方が安心して地域で生活してもらえるよう、認知症サポーター養成講座を開催しています。

平成 29 年 5 月 9 日
五月田校区民生委員懇談会開催しました。

済堂自治会館、日新自治会館、五月田協栄自治会館にて、それぞれ地域包括の説明や介護保険についてのお話をさせていただきました。

いきいき 100 歳体操広がる！！
第 4 包括内では、
西打越自治会館：毎週水・土曜日
舟田東自治会館：毎週火曜日
岸和田南住宅自治会館：毎週月曜日
門真レジデンスひかり：毎週水・土曜日
興味のある方は、包括までお声掛けください。

平成 29 年 7 月 29 日
上島自治会館にて介護予防教室開催。
門真警察から交通安全についての話をしていただきました。

編集後記：久々の四つ葉の作成、紙面を通じて包括の活動を知って頂けるとありがたいと感じています。多くのみなさまが地域での安心した暮らしぶりを支えることができるように、これからも尽力を尽くしたいと考えています。食欲の秋が参ります。美味しいものを食べて、ほっこりでっぷりしたいなと思います。今後ともよろしくお願いたします。

ひがしなかや　みどり